

# 血のつながらない家族の家

2021年3月17日、札幌地裁は、同性同士の法律婚を認めないのは憲法違反であるという判決を下した。

憲法第14条1項の「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」という規定に反するものだが、その一方で、「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」と定めた憲法第24条との関係については、「異性婚について定めたもので、同性婚に関して定めたものではない」として退けられた。

さて、われわれは今まで住宅を設計するとき、そこに住まうひとや家族を、異性間の夫婦とその血のつながった実子だと信じて疑わず、住宅での家族像はそういうものだと盲目的に設計してこなかっただろうか？

そもそも異性間で結婚した夫婦そのものは「血のつながらない家族」なのだが、その二人に実子ができた瞬間から血縁が生まれ、「血のつながった家族」となる。そのことは戸籍制度や夫婦別姓の問題と表裏一体でもあるが、伝統的であると思いついでいる戸籍制度も、明治以降に確立された家制度や家督相続の考え方に影響を受けているものの、たかだかこの100年程度のものでしかない。一方、LGBTなどのカップルと血のつながらない養子による「血のつながらない家族」や配偶者を亡くした同性の「おひとりさま」同士の「血のつながらない家族」などはすでにたくさん存在しているにも関わらず、そんな「家族」のための住宅をわれわれはイメージできていたのだろうか？

そしてその「家族」のための住宅は、今までわれわれが思い描いていた建築や空間でも満たすことができってしまうのか、あるいはそうではないのだろうか？

家と家族、法律や制度、血縁と他人との関係性や距離などに思いを馳せ、その「血のつながらない家族」のための住宅を見せてほしい。

文：武藤 隆（審査員長）

## 募集要項

### ●提出物

#### ①プレゼンシート

用紙の大きさはA2判（420mm×594mm）とする。

着色など、表現上の制約はない。

各自の提案内容に沿って自由に提案すること。

※計画地、計画面積、家族形態、生活様式等の制限はない。

また独立住宅、集合住宅、その他の居住形態の制限もない。

- ・用紙は縦使い、または横使いとし、1枚（片面）にまとめること。
- ・パネルなど巻けないものは不可とする。また模型などは受付ない。
- ・プレゼンシートには氏名や暗号等目印となるものは記入しないこと。

#### ②プレゼンシートのデータ：PDF形式

- ・データの保存名称には、作品名を記すこと。
- ・データはUSBメモリまたはCD-Rで提出のこと。
- ・ケースまたは盤面に作品タイトル、氏名を明記すること。

### ●応募資格

応募資格についての制限はない。

### ●応募締切

2021年10月22日（金）当日消印有効

### ●審査員（順不同・敬称略）

審査員長 武藤 隆（大同大学/武藤隆建築研究所）  
 ゲスト審査員 中川 エリカ（中川エリカ建築設計事務所）  
 審査員 道家 洋（道家洋建築設計事務所/JIA）  
 東福 大輔（零三工作室/JIA）  
 能勢 陽子（豊田市美術館学芸員）  
 橋本 雅好（相山女学園大学）

### ●1次審査

日時：2021年10月30日（土）  
 1次審査通過者には11月上旬に通知予定。

### ●2次公開審査会・表彰式・記念講演会

日時：2021年11月20日（土）  
 会場・その他 詳細については、11月上旬にWebサイトにて公表予定。  
 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、リモート審査になる可能性があります。

### ●表彰

金賞	1点	商品券10万円、賞状、記念品
銀賞	2点	商品券5万円、賞状、記念品
銅賞	3点	商品券3万円、賞状、記念品
奨励賞	若干名	学部生対象（高校、高専含む） 商品券1万円、賞状、記念品
ゲスト審査員特別賞	若干名	商品券1万円、賞状、記念品

